

「職業観」を育成する授業を実施！

～専門家と小中学生をつなぐキャリア教育～



子どもたちが様々な大人と出会い、確かな職業観を身につけるための「職業観育成事業」を静岡大学の協力を得て実施しています。葉梨西北小学校（5年生）と青島小学校（6年生）が、この事業による遠隔授業を行いました。



葉梨西北小学校での授業（インタビュー型）

義肢装具士の仕事に携わっているプロフェッショナルにインタビュー。インターネットや資料調べではわからない、リアルな意見やプロの考えに触れ、その仕事における苦労ややりがいを知り、モノづくりを通して生き方を学びました。

講師：株式会社 OSPO
オキノスポーツ義肢装具
代表取締役 沖野さん



青島小学校での授業（問題解決型）

防災を扱う企業のプロフェッショナルと接し、自然災害を体験する防災アプリについて触れることで、防災のために活用されている技術について知識を深めました。

また、防災アプリの内容を子どもたち自身が考え、アプリ開発者に発表しました。

子どもたちが考えた防災アプリの内容

- ・想定する災害：地震や土砂崩れ
- ・ユーザーはだれか：
家族、特に子どもも使えるように
- ・アプリにつけたい機能：
オフライン機能・応急手当の知識など
- ・使用することで得られる効果：
応急手当が苦手な人やパニック状態の人でも、アプリから知識を得ることで安心して、対応できるようになることが期待できる



テレビの取材も受けました！



講師：株式会社建設システム (KENTEM)
建設業向けのソフトウェアの開発・販売を行っている。建設業と密接に関連する「災害」に対応するため、総合防災アプリを無償で提供するなど、災害対応する取り組みにも力を入れている。

